

税金の使われ方

池田町立池田中学校 三年 中嶋 雅斗

税金とは普段からテレビやニュースで耳にするものですが、どうして私たちは税金を払わなければいけないのだろう？と疑問に思うこともあります。しかし、考えてみると税金は私たちの周りにあるさまざまな公共サービスや社会を支える重要な仕組みになっていることがわかります。税金の役割や必要性を考える事が大事だと思うのでまとめました。

税金の役割

税金の役割は、政府が社会のために必要な活動を行うための「お金を集める仕組み」です。学校や病院、道路や公園といった公共の施設を運営するために欠かせません。また、税金は経済の安定を保つ手段にもなります。不況のときには減税して消費を促し、逆に過熱した経済を冷ますためには増税することで調整することができます。さらに、税金はより公平な社会づくりを支える仕組みです。金持ちには多くの負担をお願いし、貧乏な人や困っている人たちへの支援に使うことで、社会の格差を少しでも和らげるにつながります。

税金の持つ力

税金は、ただ集めたお金を使うだけではなく、私たちの行動を社会的に導く力も持っています。例えば、たばこやアルコールのように健康に害があるものには高い税金をかけることで、消費を抑えようとする仕組みがあります。また、環境汚染を抑えたり、再生可能エネルギーの研究を応援するための税制も存在します。こうした税の使い方は、社会にとって良い方向へ導く政策としても機能しています。

税金の有効活用

税金は、ただ払わされるものではなく、民主社会においての市民としての責任の一部です。どのような税金をいくら払うのか、そしてどんなことに使われるのかは、選挙で選ばれた人が決定します。だからこそ、税金は不正なことに使うことはいけません。不透明な使い道や不公平な仕組みがあると感じたら、それに対して声をあげたり、改善を求めるのも私達税金を払う人の大切な役割なのです！

まとめ

税金は、私たちの暮らしに欠かせない公共の仕組みを支え、社会の安定や公平に貢献する重要な力です。また、それを支える仕組みをより良くするためには、私たち一人ひとりが税について知り、考え、社会に参加することが大切です。自分が将来、大人になったとき、税金は単なる義務ではなく、よりよい社会をつくる一助だと自信をもって納得して納められる人になりたいと思います！